

Ⅲ 調査結果の概要

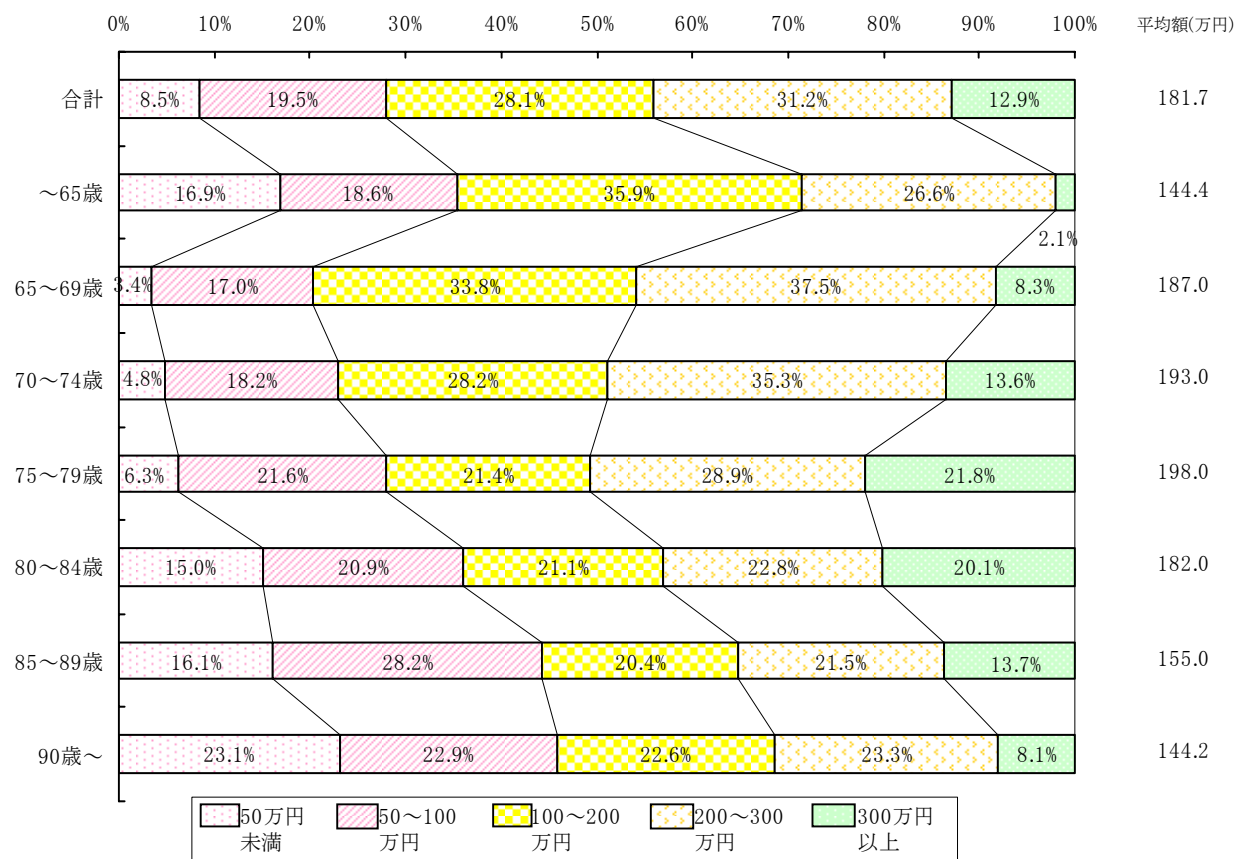
(受給者に関する状況)

1 公的年金の受給状況

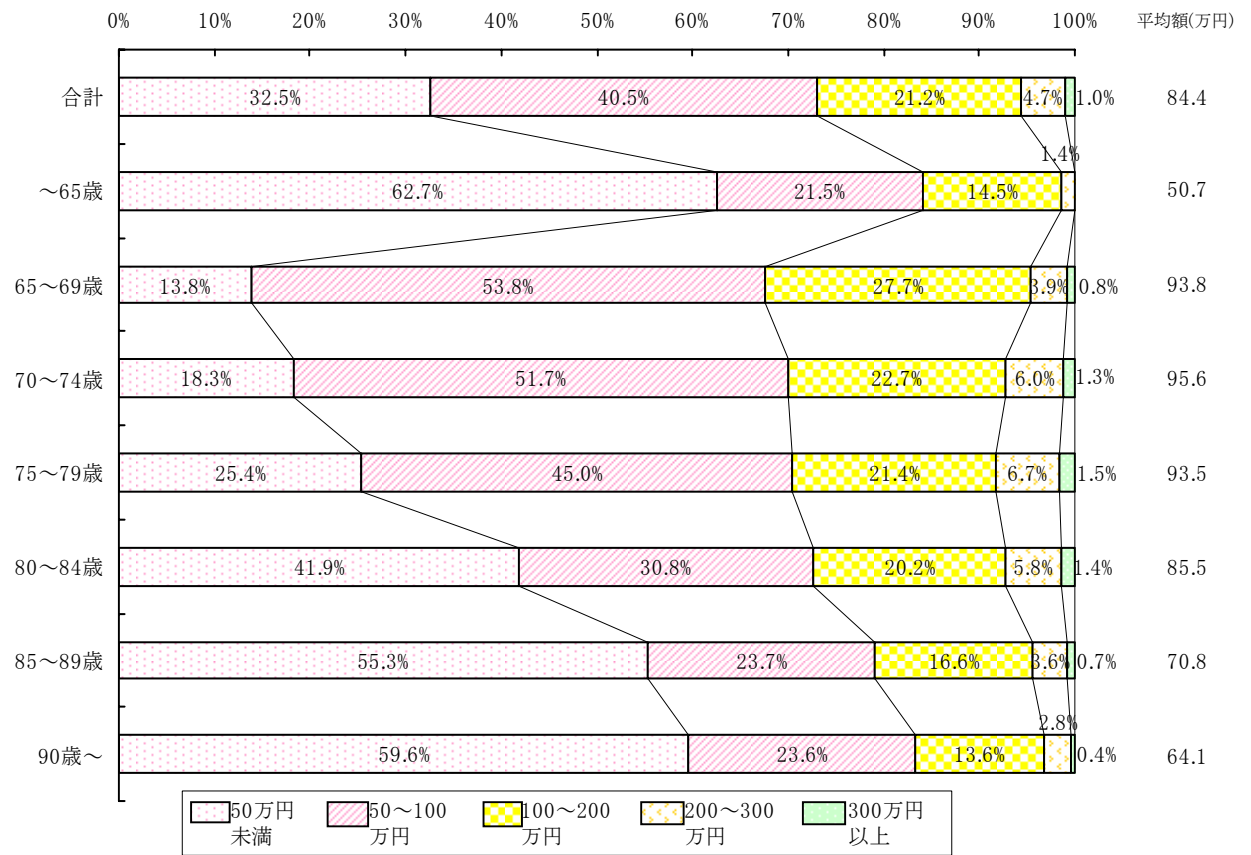
本人の公的年金(共済組合の年金、恩給を含む)の年金額をみると、男子では「200～300万円」が31.2%、「100～200万円」が28.1%となっている。これを年齢階級別にみると、70歳代では約半数が200万円以上となっている。また、女子では「50～100万円」が40.5%、「50万円未満」が32.5%となっており、100万円未満が全体の7割以上を占めている。

図1 性別・本人の年齢階級別・本人の公的年金年金額階級別 構成割合

性別：男子



性別：女子



2 世帯の状況

世帯人員数をみると、男子では「2人」が44.8%、「3人」が22.1%となっている。また、女子では「2人」が38.7%、「3人」が18.6%となっている。これを年齢階級別にみると、年齢が高いほど「1人」の割合が高くなる傾向がみられる。

表1 性別・本人の年齢階級別・世帯人員数別 構成割合

性別：男子

	合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	7.7	44.8	22.1	8.5	5.4	6.4	3.7	1.4
64歳以下	100.0	8.2	37.3	29.1	15.1	3.9	2.8	2.0	1.6
65～69歳	100.0	6.3	45.5	26.8	9.0	3.7	4.2	3.2	1.3
70～74歳	100.0	8.2	49.3	21.6	5.3	3.6	7.0	3.9	1.1
75～79歳	100.0	7.2	48.7	16.5	5.0	6.7	9.5	4.9	1.6
80～84歳	100.0	8.2	42.2	16.4	7.8	10.8	9.2	3.7	1.8
85～89歳	100.0	9.9	39.6	12.6	13.7	9.9	8.0	4.2	2.2
90歳以上	100.0	13.8	27.2	24.5	19.2	5.4	4.8	4.5	0.7

性別：女子

	合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	14.8	38.7	18.6	9.6	6.2	6.2	3.9	1.9
64歳以下	100.0	8.0	44.5	26.0	9.7	3.9	4.2	2.0	1.7
65～69歳	100.0	9.7	48.2	20.8	7.4	2.9	6.1	3.5	1.5
70～74歳	100.0	14.1	43.9	15.6	6.5	5.9	7.4	4.3	2.4
75～79歳	100.0	15.7	40.9	11.4	9.9	8.6	7.2	4.5	1.8
80～84歳	100.0	20.7	32.0	15.1	10.4	10.2	6.7	2.7	2.3
85～89歳	100.0	18.7	18.5	24.3	16.0	8.6	5.0	6.1	2.8
90歳以上	100.0	26.4	15.3	28.6	15.2	4.0	4.3	6.0	0.1

世帯構成員をみると、男子では「配偶者」が84.4%、「子又は子の配偶者」が43.0%となっている。また、女子では「配偶者」が60.7%、「子又は子の配偶者」が46.6%となっている。

表2 性別・本人の年齢階級別・世帯構成員別 構成割合

性別：男子

	合計	本人以外の世帯員あり					本人以外の世帯員なし	不明
		合計	配偶者	子又は子の配偶者	父又は母	その他		
合計	% 100.0	% 91.8	% 84.4	% 43.0	% 6.2	% 11.0	% 7.7	% 0.5
64歳以下	100.0	91.3	83.9	46.4	16.3	6.5	8.2	0.5
65～69歳	100.0	93.4	87.9	41.9	9.7	7.0	6.3	0.4
70～74歳	100.0	91.4	87.3	39.0	4.1	8.8	8.2	0.5
75～79歳	100.0	92.5	86.0	40.4	2.0	14.7	7.2	0.3
80～84歳	100.0	91.1	80.7	47.4	1.2	17.5	8.2	0.7
85～89歳	100.0	88.9	71.1	50.2	0.6	19.9	9.9	1.2
90歳以上	100.0	86.2	51.3	61.1	—	22.4	13.8	—

性別：女子

	合計	本人以外の世帯員あり					本人以外の世帯員なし	不明
		合計	配偶者	子又は子の配偶者	父又は母	その他		
合計	% 100.0	% 83.8	% 60.7	% 46.6	% 3.8	% 15.4	% 14.8	% 1.4
64歳以下	100.0	91.2	83.0	41.5	12.2	7.4	8.0	0.8
65～69歳	100.0	89.2	77.4	41.7	6.2	8.7	9.7	1.1
70～74歳	100.0	84.0	68.7	40.7	2.1	14.2	14.1	1.9
75～79歳	100.0	83.0	61.5	44.5	1.8	18.9	15.7	1.3
80～84歳	100.0	77.6	45.6	49.6	1.1	19.7	20.7	1.7
85～89歳	100.0	79.2	24.3	66.7	0.7	24.0	18.7	2.0
90歳以上	100.0	73.4	17.9	63.6	1.9	26.1	26.4	0.1

注) 複数回答である。

世帯類型をみると、夫婦のみからなる世帯（夫婦世帯）に属する受給者は36.2%、本人のみからなる世帯（単身世帯）に属する受給者は11.6%となっている。

表3 世帯類型別 構成割合

合計	夫婦世帯	単身世帯			その他	不明
		合計	男子	女子		
% 100.0	% 36.2	% 11.6	% 3.5	% 8.1	% 51.2	% 1.0

世帯の有業者構成をみると、男子では、有業者のいる世帯は５８．５％であり、有業者が「子又は子の配偶者」であるのが３５．９％、「本人」であるのが３４．０％となっている。また、女子では、有業者のいる世帯は５４．７％であり、有業者が「子又は子の配偶者」であるのが３９．０％となっている。

表４ 性別・本人の年齢階級別・有業者構成別 構成割合

性別：男子

	合計	世帯内の有業者あり						世帯内の 有業者なし	不明
		合計	本人	配偶者	子又は 子の配偶者	父又は母	その他		
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	58.5	34.0	11.3	35.9	0.3	3.6	37.4	4.1
64歳以下	100.0	78.3	63.4	4.4	38.2	0.6	1.8	19.6	2.1
65～69歳	100.0	65.6	44.4	15.5	34.9	0.3	1.3	30.2	4.2
70～74歳	100.0	52.7	29.4	11.5	33.0	0.2	1.7	43.3	4.0
75～79歳	100.0	48.5	21.2	13.4	34.2	0.2	5.0	46.7	4.8
80～84歳	100.0	51.2	17.5	7.8	40.2	0.3	7.3	44.1	4.7
85～89歳	100.0	51.4	18.4	13.2	41.8	0.3	11.0	41.8	6.8
90歳以上	100.0	59.0	16.2	－	42.7	－	12.3	38.7	2.3

性別：女子

	合計	世帯内の有業者あり						世帯内の 有業者なし	不明
		合計	本人	配偶者	子又は 子の配偶者	父又は母	その他		
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	54.7	15.7	14.1	39.0	0.3	7.1	41.4	4.0
64歳以下	100.0	72.3	37.5	29.0	34.4	0.9	1.8	22.6	5.1
65～69歳	100.0	58.0	22.2	12.1	36.2	0.2	1.6	38.7	3.2
70～74歳	100.0	48.1	15.1	13.4	34.1	0.1	3.4	47.8	4.1
75～79歳	100.0	47.4	9.8	12.0	39.0	0.4	7.9	48.5	4.1
80～84歳	100.0	52.1	8.8	14.1	43.6	0.4	12.1	44.0	3.9
85～89歳	100.0	60.6	4.9	11.0	55.3	0.3	17.1	35.4	3.9
90歳以上	100.0	50.5	4.0	6.4	39.1	－	20.4	45.7	3.8

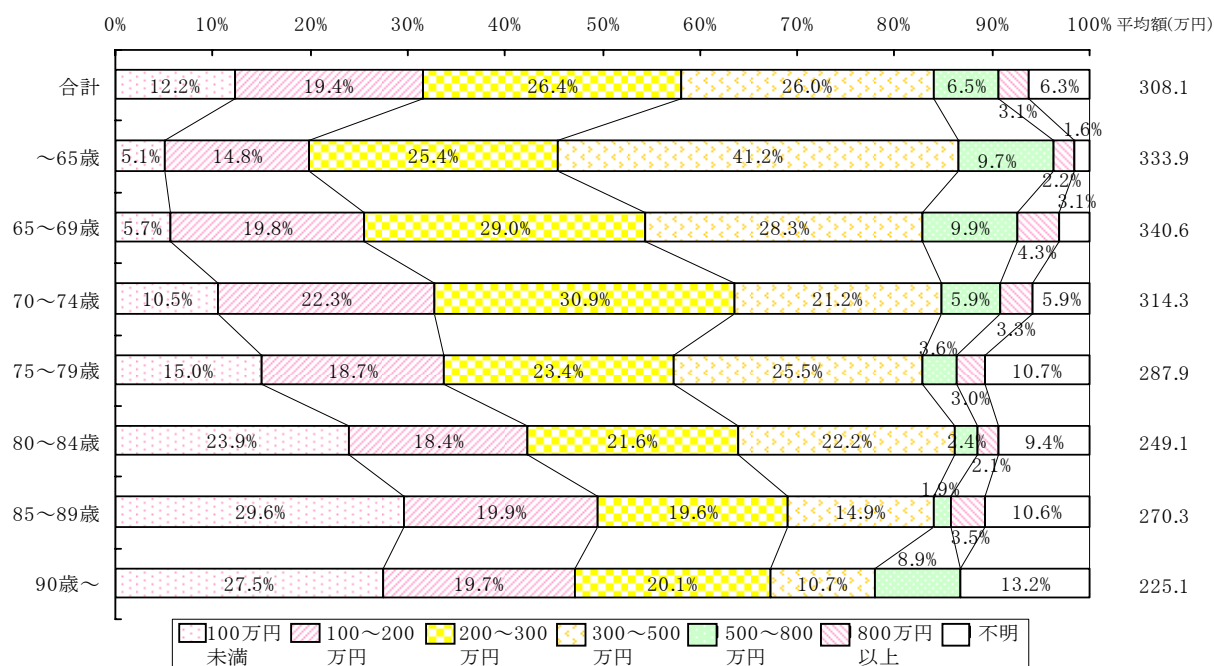
注）複数回答である。

3 収入の状況

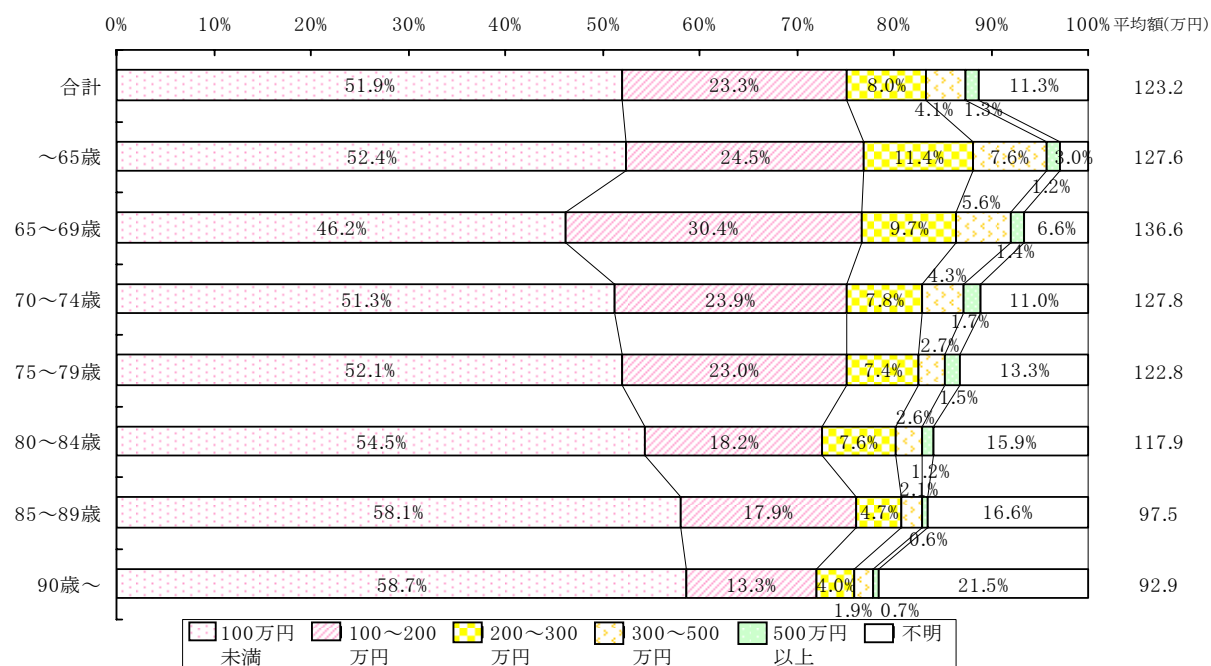
本人の平均収入額をみると、男子308.1万円、女子123.2万円となっている。これを年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高いほど、収入が低くなる傾向がみられる。

図2 性別・本人の年齢階級別・本人の収入額階級別 構成割合

性別：男子



性別：女子



本人の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均をみると、男子75.6%、女子85.9%となっている。これを年齢階級別にみると、年齢が高いほど公的年金収入が占める割合が高くなる傾向がみられる。

表5 性別・本人の年齢階級別 本人の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均

	男子	女子
	%	%
合計	75.6	85.9
64歳以下	51.8	65.4
65～69歳	69.7	83.4
70～74歳	80.2	88.8
75～79歳	85.3	90.9
80～84歳	87.3	91.6
85～89歳	87.7	91.4
90歳以上	85.4	92.7

本人の公的年金以外の収入の有無別をみると、「公的年金以外の収入なし」は55.3%、「公的年金以外の収入あり」は35.7%となっている。これを年齢階級別にみると、年齢が高いほど「公的年金以外の収入なし」の割合が高くなっている。

表6 本人の年齢階級別・本人の公的年金以外の収入の有無別 構成割合

	合計	公的年金以外の 収入なし	公的年金以外の 収入あり	不明
	%	%	%	%
合計	100.0	55.3	35.7	9.0
64歳以下	100.0	32.0	65.8	2.3
65～69歳	100.0	47.7	47.4	4.8
70～74歳	100.0	57.6	33.9	8.5
75～79歳	100.0	63.3	24.7	12.1
80～84歳	100.0	66.0	20.8	13.2
85～89歳	100.0	67.7	17.4	14.8
90歳以上	100.0	64.9	15.8	19.3

4 支出の状況

支出項目別に本人及び配偶者の各支出が本人及び配偶者の支出総額に占める割合の平均をみると、「衣食住」にかかる支出が51.3%、「医療・介護の自己負担」にかかる支出が10.6%、「税・社会保険料」にかかる支出が10.1%となっている。これを年齢階級別にみると、「衣食住」、「趣味、娯楽」、「ローン等支払い」、「税・社会保険料」にかかる支出は年齢が高いほど割合が低くなる傾向がみられ、「医療・介護の自己負担」にかかる支出は年齢が高いほど割合が高くなっている。

表7 本人の年齢階級別・支出項目別 本人及び配偶者の支出総額に占める割合の平均

	合計	衣食住	趣味、娯楽	交際費	ローン等 支払い	預貯金	医療・介護 の自己負担	税・社会 保険料	その他	平均 支出額 (月額)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	51.3	5.5	6.5	2.9	4.4	10.6	10.1	8.8	27.4
64歳以下	100.0	51.5	6.6	6.0	5.6	5.2	6.6	11.8	6.7	31.1
65～69歳	100.0	51.6	6.1	6.5	4.4	4.4	7.8	11.2	8.0	30.9
70～74歳	100.0	53.4	5.7	6.8	2.6	4.3	8.1	9.9	9.1	29.0
75～79歳	100.0	52.2	5.0	7.0	1.6	4.5	10.3	9.7	9.7	26.5
80～84歳	100.0	50.5	4.3	6.7	1.5	4.2	13.6	8.7	10.4	23.1
85～89歳	100.0	45.5	4.9	6.1	0.9	3.0	22.4	8.2	9.0	18.1
90歳以上	100.0	43.0	3.6	4.0	0.5	3.0	29.2	7.1	9.6	15.5

また、これを本人及び配偶者の公的年金年金額階級別にみると、「趣味、娯楽」、「預貯金」、「税・社会保険料」にかかる支出は年金額が高いほど割合が高くなる傾向がみられ、「医療・介護の自己負担」にかかる支出は年金額が高いほど割合が低くなる傾向がみられる。

表8 本人及び配偶者の公的年金年金額階級別・支出項目別

本人及び配偶者の支出総額に占める割合の平均

	合計	衣食住	趣味、娯楽	交際費	ローン等 支払い	預貯金	医療・介護 の自己負担	税・社会 保険料	その他	平均 支出額 (月額)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	51.3	5.5	6.5	2.9	4.4	10.6	10.1	8.8	27.4
50万円未満	100.0	46.3	4.9	5.7	2.2	3.3	19.7	8.4	9.4	17.3
50～100万円	100.0	48.3	5.0	6.9	2.7	4.0	13.8	8.8	10.5	21.3
100～150万円	100.0	51.0	5.2	7.2	3.5	4.3	10.7	8.8	9.3	23.9
150～200万円	100.0	50.7	5.5	6.8	2.8	4.5	9.9	9.8	10.0	26.3
200～250万円	100.0	53.7	5.5	6.3	3.7	4.5	8.6	10.2	7.6	29.1
250～300万円	100.0	53.4	5.7	6.3	3.3	4.2	8.2	11.0	7.9	30.7
300～400万円	100.0	52.6	6.3	6.5	2.8	4.9	7.7	12.1	7.1	33.8
400～500万円	100.0	50.9	6.7	7.1	2.7	5.5	7.6	13.0	6.5	38.3
500万円以上	100.0	49.0	7.8	7.0	1.5	6.0	7.1	13.3	8.4	45.3
不明	100.0	55.0	3.1	4.9	2.0	3.0	13.2	6.1	12.8	19.9

5 現在の就業状況

現在の就業状況をみると、就業割合は男子34.0%、女子15.7%となっている。これを年齢階級別にみると「64歳以下」では男子63.4%、女子37.5%となっており、年齢が高いほど就業割合は低くなる傾向がみられる。また、就業者の内訳をみると、「自営業者」が男子15.5%、女子8.1%、「正社員等」が男子6.1%、女子1.5%となっている。

厚生・共済年金有無別にみると、男子の「厚生・共済年金なし」では就業割合が45.1%となっている。これを年齢階級別にみると「64歳以下」が88.8%、「65～69歳」が68.1%となっている。また、就業者の内訳をみると、「自営業」が大部分を占めている。

表9 性別・本人の年齢階級別・本人の現在の就業状況別 構成割合

総計

性別：男子

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト等	自営業	不明		
	%	%	正社員等	パート	%	%	%	%	%
合計	100.0	34.0	6.1	5.0	5.1	15.5	2.3	64.9	1.1
64歳以下	100.0	63.4	16.9	14.8	11.3	17.2	3.2	35.8	0.8
65～69歳	100.0	44.4	7.9	8.6	8.2	16.9	2.7	54.5	1.1
70～74歳	100.0	29.4	4.8	2.8	4.5	15.2	2.1	69.3	1.3
75～79歳	100.0	21.2	2.0	0.6	1.6	14.8	2.1	77.8	1.1
80～84歳	100.0	17.5	1.5	0.4	0.9	13.7	1.1	81.6	0.9
85～89歳	100.0	18.4	2.8	—	0.3	13.2	2.2	79.3	2.3
90歳以上	100.0	16.2	0.5	—	—	13.6	2.0	83.1	0.7

性別：女子

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト等	自営業	不明		
	%	%	正社員等	パート	%	%	%	%	%
合計	100.0	15.7	1.5	3.8	1.3	8.1	1.2	83.3	1.0
64歳以下	100.0	37.5	5.9	15.9	4.1	9.7	1.9	61.3	1.2
65～69歳	100.0	22.2	1.9	7.1	2.3	9.5	1.5	76.7	1.1
70～74歳	100.0	15.1	1.1	1.5	1.0	9.8	1.6	83.7	1.2
75～79歳	100.0	9.8	0.4	0.6	0.4	7.3	1.1	89.1	1.1
80～84歳	100.0	8.8	0.6	—	0.2	7.6	0.4	90.2	1.0
85～89歳	100.0	4.9	0.1	0.4	—	3.7	0.7	95.0	0.1
90歳以上	100.0	4.0	0.1	—	—	3.4	0.4	96.0	—

厚生・共済年金あり

性別：男子

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト等	自営業	不明		
			正社員等	パート					
合計	% 100.0	% 31.8	% 6.9	% 5.7	% 5.7	% 11.7	% 1.9	% 67.1	% 1.1
64歳以下	100.0	62.6	17.4	15.3	11.6	15.1	3.1	36.6	0.9
65～69歳	100.0	41.6	8.3	8.9	8.4	13.7	2.2	57.4	1.1
70～74歳	100.0	24.5	5.4	3.2	4.6	9.6	1.8	74.2	1.3
75～79歳	100.0	16.2	2.0	0.5	2.0	10.5	1.2	82.4	1.4
80～84歳	100.0	13.5	1.9	0.5	1.2	9.1	0.8	85.9	0.6
85～89歳	100.0	15.1	3.2	－	0.4	10.3	1.3	83.1	1.7
90歳以上	100.0	10.0	0.8	－	－	6.1	3.1	88.9	1.1

性別：女子

別：業種

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト等	自営業	不明		
			正社員等	パート					
合計	% 100.0	% 18.1	% 2.5	% 5.9	% 2.0	% 6.4	% 1.3	% 80.7	% 1.2
64歳以下	100.0	37.4	6.1	15.6	4.3	9.5	1.8	61.3	1.3
65～69歳	100.0	22.3	2.5	8.3	2.9	6.6	1.9	76.4	1.3
70～74歳	100.0	13.6	1.6	2.3	1.4	6.8	1.5	85.1	1.2
75～79歳	100.0	8.7	1.0	1.0	0.3	5.4	1.0	90.1	1.2
80～84歳	100.0	5.1	0.9	－	－	4.0	0.1	93.5	1.4
85～89歳	100.0	2.3	0.3	－	－	2.0	－	97.4	0.3
90歳以上	100.0	3.6	0.5	－	－	3.1	－	96.4	－

厚生・共済年金なし

性別：男子

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト 等	自営業	不明		
			正社員等	パート					
合計	% 100.0	% 45.1	% 1.9	% 1.4	% 2.2	% 35.3	% 4.3	% 53.7	% 1.2
64歳以下	100.0	88.8	－	－	－	83.3	5.6	11.2	－
65～69歳	100.0	68.1	4.6	5.9	7.0	43.7	6.9	30.4	1.5
70～74歳	100.0	53.9	1.8	0.7	4.4	43.5	3.5	44.7	1.4
75～79歳	100.0	37.3	2.1	0.9	－	28.9	5.4	62.7	－
80～84歳	100.0	29.8	－	－	－	27.8	2.0	68.2	1.9
85～89歳	100.0	26.6	1.8	－	－	20.4	4.5	69.8	3.6
90歳以上	100.0	27.6	－	－	－	27.6	－	72.4	－

性別：女子

	合計	就業あり						就業なし	不明
		合計	常勤		アルバイト 等	自営業	不明		
			正社員等	パート					
合計	% 100.0	% 13.0	% 0.3	% 1.2	% 0.4	% 10.0	% 1.0	% 86.3	% 0.7
64歳以下	100.0	38.7	2.2	19.7	－	12.5	4.4	61.3	－
65～69歳	100.0	21.8	0.6	4.5	0.8	15.4	0.5	77.4	0.8
70～74歳	100.0	16.6	0.6	0.7	0.7	13.0	1.6	82.2	1.1
75～79歳	100.0	10.8	－	0.3	0.5	8.9	1.2	88.2	1.0
80～84歳	100.0	11.4	0.3	－	0.3	10.1	0.6	87.9	0.8
85～89歳	100.0	6.1	－	0.6	－	4.5	1.0	93.9	－
90歳以上	100.0	4.1	－	－	－	3.5	0.6	95.9	－

現在の就業状況別に本人の収入額をみると、男子の「就業あり」では、「３００～４００万円」が２２．３％となっており、「就業なし」では「３００～４００万円」が１６．７％となっている。また女子の「就業あり」では「１００～１５０万円」が２０．０％、「就業なし」では「５０～１００万円」が３２．４％となっている。

平均額をみると、「就業あり」では男子４２１．９万円、女子２３２．４万円となっており、「就業なし」では男子２４５．０万円、女子１００．０万円となっている。

表１０ 性別・本人の現在の就業状況別・本人の収入額階級別 構成割合

性別：男子

		合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計		100.0	3.3	9.0	8.8	10.6	12.9	13.5	18.6	7.4	6.5	3.1	6.3	308.1
就業あり	合計	100.0	1.2	5.6	7.5	7.8	9.4	11.3	22.3	12.9	13.2	7.7	1.0	421.9
	常勤	100.0	—	1.0	0.9	0.8	3.8	8.1	22.6	20.5	24.4	17.9	—	608.9
	パート	100.0	—	1.0	1.8	7.1	9.4	12.2	35.0	19.4	11.1	3.0	—	376.8
	アルバイト等	100.0	—	1.7	5.3	8.6	10.8	15.2	30.1	15.8	11.2	1.3	—	343.6
	自営業	100.0	2.4	10.2	12.4	9.9	11.0	10.8	16.3	7.6	9.6	7.7	2.1	400.0
	不明	100.0	1.4	5.5	9.6	12.4	11.0	13.1	17.4	7.6	17.4	4.6	—	343.7
就業なし		100.0	4.3	10.7	9.4	12.0	14.7	14.7	16.7	4.7	3.0	0.8	9.0	245.0
不明		100.0	6.1	13.8	10.4	13.4	15.5	12.6	16.0	1.7	1.4	—	9.1	207.5

性別：女子

		合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計		100.0	22.2	29.8	15.0	8.3	4.8	3.2	3.2	0.9	0.8	0.6	11.3	123.2
就業あり	合計	100.0	6.0	16.3	20.0	15.7	11.2	8.9	10.4	3.1	3.1	2.8	2.6	232.4
	常勤	100.0	—	1.7	7.5	5.0	4.6	18.7	34.3	8.0	12.5	7.7	—	431.5
	パート	100.0	1.8	9.3	26.1	23.9	16.5	11.6	8.1	1.8	0.9	—	—	192.6
	アルバイト等	100.0	1.3	23.7	27.1	11.2	11.4	6.8	14.0	2.9	—	1.5	—	187.5
	自営業	100.0	10.0	21.8	17.7	14.2	10.1	6.0	6.5	2.9	2.5	3.4	5.1	222.8
	不明	100.0	5.4	11.6	24.2	17.6	10.3	10.2	9.7	2.8	5.0	3.1	—	221.2
就業なし		100.0	25.3	32.4	13.9	6.9	3.6	2.1	1.9	0.4	0.3	0.2	12.9	100.0
不明		100.0	14.9	21.6	24.1	5.3	4.3	7.5	2.5	3.7	—	—	16.2	138.1

6 現役時代の経歴類型別にみた状況

現役時代の経歴類型をみると、男子では「正社員中心」が70.6%、「自営業中心」が18.7%となっている。また、女子では「自営業中心」が21.2%、「正社員中心」が19.4%、「収入を伴う仕事をしていない期間中心」が16.9%となっている。これを年齢階級別にみると、男女ともに、年齢が高いほど「正社員中心」の割合が低く、「自営業中心」の割合が高くなる傾向がみられる。

表1-1 性別・本人の年齢階級別・本人の現役時代の経歴類型別 構成割合

性別：男子

	合計	正社員中心	常勤パート 中心	アルバイト 中心	自営業中心	収入を伴う 仕事をしてい ない期間中心	中間的な経歴	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	70.6	0.5	1.7	18.7	0.1	2.4	5.9
64歳以下	100.0	84.9	0.2	0.6	9.6	—	2.6	2.1
65～69歳	100.0	78.4	0.4	1.6	14.4	—	1.1	4.2
70～74歳	100.0	71.9	0.8	2.3	16.9	0.2	2.7	5.3
75～79歳	100.0	68.1	0.4	1.5	21.1	—	2.1	6.9
80～84歳	100.0	55.5	—	1.8	29.9	0.4	4.0	8.4
85～89歳	100.0	43.4	1.8	3.3	32.7	0.7	3.9	14.3
90歳以上	100.0	43.3	2.2	0.7	35.5	—	5.4	12.9

性別：女子

	合計	正社員中心	常勤パート 中心	アルバイト 中心	自営業中心	収入を伴う 仕事をしてい ない期間中心	中間的な経歴	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	19.4	6.4	3.5	21.2	16.9	14.4	18.3
64歳以下	100.0	37.3	13.7	2.3	8.4	10.2	18.0	10.1
65～69歳	100.0	27.6	8.3	4.8	16.5	15.1	15.2	12.6
70～74歳	100.0	20.7	6.7	3.7	18.4	18.6	15.3	16.5
75～79歳	100.0	15.9	4.5	2.8	20.9	18.8	13.8	23.4
80～84歳	100.0	9.3	3.1	3.4	27.7	19.8	12.1	24.7
85～89歳	100.0	6.9	3.6	3.3	35.3	16.6	11.8	22.6
90歳以上	100.0	3.9	3.1	3.2	35.7	17.5	12.1	24.6

注) 「正社員中心」とは20歳から60歳までの40年間のうち20年を超えて正社員等であったものとし(他も同様)、「中間的な経歴」とはいずれの職業も20年以下であるものとする。

現役時代の経歴類型別に本人の公的年金の平均年金額をみると、男子では「正社員中心」が221.5万円、「自営業中心」が78.5万円となっている。また、女子では「収入を伴う仕事をしていない期間中心」が75.3万円、「正社員中心」が135.0万円、「自営業中心」が66.4万円となっている。

表12 性別・本人の現役時代の経歴類型別・本人の公的年金年金額階級別 構成割合

性別：男子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～350万円	350万円以上	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	8.5	19.5	13.0	15.0	15.8	15.4	9.1	3.8	181.7
正社員中心	100.0	2.6	6.8	10.2	19.3	21.8	21.4	12.6	5.3	221.5
常勤パート中心	100.0	10.1	43.3	36.6	10.0	—	—	—	—	97.7
アルバイト中心	100.0	22.4	48.7	22.6	4.4	1.9	—	—	—	83.1
自営業中心	100.0	24.4	55.4	15.4	3.4	0.8	0.4	0.3	—	78.5
収入を伴う仕事を していない 期間中心	100.0	14.1	28.8	44.7	—	—	12.4	—	—	109.9
中間的な経歴	100.0	20.9	28.6	29.9	15.6	1.3	0.8	2.2	0.6	106.0
不明	100.0	18.3	42.3	27.0	4.9	2.3	3.0	1.5	0.7	101.5

性別：女子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～350万円	350万円以上	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	32.5	40.5	14.8	6.5	3.3	1.4	0.5	0.5	84.4
正社員中心	100.0	8.1	22.8	37.1	16.8	7.5	4.3	1.8	1.5	135.0
常勤パート中心	100.0	33.3	46.4	14.7	3.8	1.2	0.2	0.2	0.2	72.9
アルバイト中心	100.0	35.4	47.4	12.9	2.4	1.2	0.2	0.5	—	71.3
自営業中心	100.0	40.6	48.1	7.8	2.3	0.9	0.1	0.1	0.0	66.4
収入を伴う仕事を していない 期間中心	100.0	39.2	44.5	5.5	4.9	3.2	1.7	0.5	0.6	75.3
中間的な経歴	100.0	34.7	45.0	12.7	4.5	2.5	0.4	0.1	0.1	73.7
不明	100.0	40.4	40.1	9.6	5.1	3.3	1.0	0.2	0.2	74.7

注) 「正社員中心」とは20歳から60歳までの40年間のうち20年を超えて正社員等であったものとし(他も同様)、「中間的な経歴」とはいずれの職業も20年以下であるものとする。

現役時代の経歴類型別に本人の平均収入額をみると、男子では「正社員中心」が３３８．６万円、「自営業中心」が２６０．７万円となっている。また、女子では「収入を伴う仕事をしていない期間中心」が８８．８万円、「正社員中心」が２００．３万円、「自営業中心」が１２３．０万円となっている。

表１３ 性別・本人の現役時代の経歴類型別・本人の収入額階級別 構成割合

性別：男子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	3.3	9.0	8.8	10.6	12.9	13.5	18.6	7.4	6.5	3.1	6.3	308.1
正社員中心	100.0	0.6	2.9	4.9	11.0	15.5	16.7	23.6	9.4	7.6	3.1	4.6	338.6
常勤パート中心	100.0	10.1	13.4	11.3	25.1	10.5	8.5	6.4	—	3.1	—	11.6	175.8
アルバイト中心	100.0	13.6	26.0	20.2	10.5	9.0	5.1	4.0	2.0	—	—	9.7	139.4
自営業中心	100.0	9.4	25.3	16.9	9.4	7.3	6.0	7.5	3.1	4.4	4.4	6.1	260.7
収入を伴う仕事をしていない期間中心	100.0	14.1	28.8	30.6	—	—	12.4	—	—	—	—	14.1	117.5
中間的な経歴	100.0	11.1	17.9	26.0	12.7	6.6	3.4	4.9	5.3	2.1	0.7	9.3	178.1
不明	100.0	8.4	20.9	19.0	7.4	3.3	6.2	5.5	1.1	3.2	1.2	23.8	174.9

性別：女子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	22.2	29.8	15.0	8.3	4.8	3.2	3.2	0.9	0.8	0.6	11.3	123.2
正社員中心	100.0	3.6	13.2	28.1	14.8	8.9	8.3	10.0	2.4	1.9	1.1	7.8	200.3
常勤パート中心	100.0	18.9	35.9	20.3	8.7	3.8	2.8	1.4	0.4	—	0.6	7.3	109.1
アルバイト中心	100.0	24.0	37.3	18.8	4.9	4.4	0.2	2.1	0.3	—	0.4	7.7	97.4
自営業中心	100.0	27.8	31.5	12.1	8.6	4.3	2.2	2.7	1.3	0.7	1.0	7.7	123.0
収入を伴う仕事をしていない期間中心	100.0	32.8	39.5	7.1	6.1	3.1	2.4	1.4	0.2	0.5	0.2	6.6	88.8
中間的な経歴	100.0	26.8	37.3	14.7	6.6	4.4	1.3	0.8	0.1	0.6	0.2	7.3	97.3
不明	100.0	22.8	26.8	9.2	4.9	3.4	1.8	1.0	0.3	0.4	0.3	29.0	98.6

注）「正社員中心」とは２０歳から６０歳までの４０年間のうち２０年を超えて正社員等であったものとし（他も同様）、「中間的な経歴」とはいずれの職業も２０年以下であるものとする。

(夫婦世帯に関する状況)

7 公的年金の受給状況（夫婦世帯）

受給者全体の中で、夫婦のみからなる世帯（夫婦世帯）に属する者は36.2%となっている（表3参照）。これを夫の年齢階級別にみると、「70～74歳」が26.4%、「65～69歳」が22.3%、「75～79歳」が21.7%となっており、これらが全体の7割を占めている。これを世帯として厚生・共済年金有無別にみると、「60～64歳」では「世帯として厚生・共済年金あり」は9.9%、「世帯として厚生・共済年金なし」は0.9%、「80～84歳」では「世帯として厚生・共済年金あり」は11.3%、「世帯として厚生・共済年金なし」は14.3%となっている。

夫の平均年齢は73.3歳となっている。これを世帯として厚生・共済年金有無別にみると、「世帯として厚生・共済年金あり」は72.5歳、「世帯として厚生・共済年金なし」は77.1歳となっている。

表14 夫の年齢階級別 構成割合

	合計	世帯として 厚生・共済年金あり (再掲)	世帯として 厚生・共済年金なし (再掲)
	%	%	%
合計	100.0	100.0	100.0
59歳以下	0.6	0.6	—
60～64歳	8.7	9.9	0.9
65～69歳	22.3	24.4	7.6
70～74歳	26.4	27.2	31.6
75～79歳	21.7	21.2	32.8
80～84歳	12.3	11.3	14.3
85～89歳	4.5	3.4	6.7
90歳以上	1.7	0.9	6.0
年齢不明	1.7	1.1	—
平均年齢（歳）	73.3	72.5	77.1

世帯の公的年金の年金額をみると、「３００～４００万円」が２８．４％、「２５０～３００万円」が１４．２％となっている。これを世帯として厚生・共済年金有無別にみると、「世帯として厚生・共済年金あり」では「３００～４００万円」が３１．２％、「世帯として厚生・共済年金なし」では「１００～１５０万円」が４５．０％となっている。

平均年金額は２６２．５万円となっている。これを世帯として厚生・共済年金有無別にみると、「世帯として厚生・共済年金あり」では２８０．１万円、「世帯として厚生・共済年金なし」では１３０．１万円となっている。

表１５ 夫の年齢階級別・世帯の公的年金年金額階級別 構成割合（夫婦世帯）

総計

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	3.3	6.6	8.7	11.3	11.3	14.2	28.4	7.8	2.1	6.3	262.5
59歳以下	100.0	50.0	14.9	18.5	7.6	4.5	—	—	—	—	4.5	76.4
60～64歳	100.0	13.0	13.6	15.4	18.8	14.1	14.7	8.0	1.1	0.2	1.0	171.8
65～69歳	100.0	1.9	6.3	7.3	12.2	18.5	22.8	24.3	2.5	1.3	2.8	248.0
70～74歳	100.0	1.1	3.3	7.4	10.9	10.2	15.0	34.9	8.2	2.6	6.3	287.4
75～79歳	100.0	1.4	4.2	7.0	11.7	7.8	10.0	32.3	13.9	3.4	8.4	296.1
80～84歳	100.0	2.0	7.5	9.7	8.1	8.2	8.4	33.0	12.4	2.2	8.5	281.7
85～89歳	100.0	6.9	13.3	8.4	5.8	7.8	9.0	29.9	6.7	2.5	9.8	246.9
90歳以上	100.0	2.0	17.6	23.8	8.4	4.0	17.4	21.5	3.6	—	1.7	206.7
年齢不詳	100.0	19.2	21.6	5.5	2.1	5.3	—	12.4	2.0	—	31.8	142.2

世帯として厚生・共済年金あり（再掲）

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	2.2	3.8	6.3	10.9	12.8	16.0	31.2	8.8	2.5	5.5	280.1
59歳以下	100.0	44.6	16.6	20.5	8.4	5.0	—	—	—	—	5.0	81.4
60～64歳	100.0	12.9	11.3	15.3	19.6	14.7	15.3	8.4	1.2	0.2	1.1	176.0
65～69歳	100.0	1.5	3.5	6.4	12.7	19.6	23.8	26.0	2.7	1.4	2.3	257.1
70～74歳	100.0	0.2	1.2	4.6	10.0	11.2	16.0	38.9	9.3	2.9	5.7	304.8
75～79歳	100.0	0.1	2.4	3.7	8.8	9.1	11.9	36.1	16.4	4.1	7.4	320.9
80～84歳	100.0	0.9	4.3	6.7	7.2	9.3	9.0	37.4	14.5	2.8	7.8	306.4
85～89歳	100.0	1.2	3.8	3.5	9.1	9.0	14.0	35.3	9.1	3.9	11.1	298.9
90歳以上	100.0	—	3.9	11.8	8.2	8.8	31.1	24.7	7.9	—	3.6	268.5
年齢不詳	100.0	5.6	20.7	10.6	4.0	5.7	—	10.7	3.8	—	38.9	169.8

世帯として厚生・共済年金なし（再掲）

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	0.8	19.6	45.0	25.5	0.7	—	1.3	—	—	7.1	130.1
59歳以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
60～64歳	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	(*) 90.5
65～69歳	100.0	—	15.1	74.7	10.2	—	—	—	—	—	—	119.6
70～74歳	100.0	—	21.9	41.2	25.0	—	—	—	—	—	11.9	129.2
75～79歳	100.0	2.3	8.4	38.0	37.7	2.3	—	3.9	—	—	7.4	146.4
80～84歳	100.0	—	18.8	44.0	31.0	—	—	—	—	—	6.2	129.2
85～89歳	100.0	—	49.7	50.3	—	—	—	—	—	—	—	103.2
90歳以上	100.0	—	30.5	69.5	—	—	—	—	—	—	—	102.9
年齢不詳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注）表中の（*）は、当該受給者数が3以下であることを表している。

8 収入の状況（夫婦世帯）

世帯の収入額をみると、「300～400万円」が27.2%、「400～500万円」が16.2%となっている。

平均収入額は406.8万円となっている。

表16 夫の年齢階級別・世帯の収入額階級別 構成割合（夫婦世帯）

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	1.1	2.9	4.8	6.2	8.0	10.3	27.2	16.2	12.1	5.0	6.3	406.8
59歳以下	100.0	—	—	6.0	8.9	8.9	15.7	4.5	11.2	40.2	—	4.5	430.3
60～64歳	100.0	2.1	1.6	3.4	4.8	7.2	8.8	26.7	19.4	19.6	5.3	1.0	434.7
65～69歳	100.0	0.6	1.4	1.7	5.3	8.5	11.7	25.4	16.8	18.0	7.8	2.8	460.0
70～74歳	100.0	0.3	1.7	4.5	5.7	7.7	12.3	28.7	16.7	11.2	4.9	6.3	428.8
75～79歳	100.0	0.5	2.3	5.3	7.5	8.7	8.9	28.0	17.4	9.2	3.7	8.4	377.0
80～84歳	100.0	1.6	5.6	7.3	7.6	7.7	8.4	28.9	15.3	6.4	2.8	8.5	339.9
85～89歳	100.0	4.8	10.1	7.3	6.0	6.4	7.1	27.6	10.1	7.0	3.9	9.8	353.7
90歳以上	100.0	2.0	2.8	22.9	7.6	10.0	14.2	26.2	3.8	2.5	6.4	1.7	281.1
年齢不詳	100.0	9.2	14.9	7.1	2.1	7.5	5.0	14.1	4.9	—	3.2	31.8	267.7

世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均をみると、77.8%となっている。これを夫の年齢階級別にみると、年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。また、これを世帯として厚生・共済年金有無別にみると、「世帯として厚生・共済年金あり」では78.7%、「世帯として厚生・共済年金なし」では69.6%となっており、「世帯として厚生・共済年金あり」の方が公的年金収入の占める割合が高くなっている。

表17 夫の年齢階級別 世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均（夫婦世帯）

	合計	世帯として 厚生・共済年金あり (再掲)	世帯として 厚生・共済年金なし (再掲)
	%	%	%
合計	77.8	78.7	69.6
59歳以下	24.5	25.9	—
60～64歳	51.2	52.2	(*) 25.9
65～69歳	68.3	69.7	41.8
70～74歳	81.6	83.5	61.2
75～79歳	87.1	88.8	76.8
80～84歳	90.1	91.4	76.6
85～89歳	88.1	92.0	75.6
90歳以上	84.2	91.3	92.2
年齢不詳	72.9	78.9	—

注) 表中の(*)は、当該受給者数が3以下であることを表している。

9 支出の状況（夫婦世帯）

世帯の支出額（月額）をみると、「25～30万円」が17.7%、「30～35万円」が15.1%となっている。

平均支出額（月額）は31.4万円となっている。

表18 夫の年齢階級別・世帯の支出額階級（月額）別 構成割合（夫婦世帯）

	合計	5万円未満	5～10万円	10～15万円	15～20万円	20～25万円	25～30万円	30～35万円	35～40万円	40～50万円	50万円以上	不明	平均額（月額）
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	0.7	2.6	4.7	9.8	14.6	17.7	15.1	10.1	11.3	10.1	3.3	31.4
59歳以下	100.0	—	—	4.5	14.0	16.6	22.3	8.9	3.1	17.9	12.6	—	33.1
60～64歳	100.0	0.4	1.0	2.9	7.4	14.8	21.2	18.3	10.8	12.4	9.0	1.9	31.6
65～69歳	100.0	0.1	1.6	2.1	8.6	14.7	18.8	14.7	11.1	13.6	12.9	1.8	33.5
70～74歳	100.0	0.7	1.8	4.6	9.7	15.0	18.4	16.4	9.3	11.7	10.3	2.1	31.9
75～79歳	100.0	0.9	3.5	4.3	9.4	14.3	16.7	16.4	11.9	10.0	8.9	3.6	31.0
80～84歳	100.0	0.7	3.6	8.1	12.6	14.6	18.5	11.2	8.9	8.3	8.9	4.4	29.0
85～89歳	100.0	0.5	7.1	11.8	9.4	15.3	8.4	12.1	7.7	13.0	5.6	9.1	28.4
90歳以上	100.0	3.9	4.7	6.5	19.8	9.6	14.6	8.9	7.4	6.1	14.8	3.9	28.4
年齢不詳	100.0	6.2	5.6	9.1	12.7	11.6	9.0	9.8	5.3	4.2	7.4	18.9	24.6

10 貯蓄の状況（夫婦世帯）

ともに65歳以上である夫婦世帯の貯蓄額をみると、「100～300万円」が13.4%、「300～500万円」が11.4%となっている。これを世帯の公的年金年金額階級別にみると、年金額が高い世帯ほど貯蓄額が高い傾向がみられる。

表19 世帯の公的年金年金額階級別・世帯の貯蓄額階級別 構成割合

（ともに65歳以上である夫婦世帯）

	合計	貯蓄 なし	100万円 未満	100～300 万円	300～500 万円	500～700 万円	700～ 1,000 万円	1,000～ 1,500 万円	1,500～ 2,000 万円	2,000～ 3,000 万円	3,000 万円以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	8.9	8.7	13.4	11.4	7.2	11.2	8.9	6.9	7.3	10.2	6.1
50万円未満	100.0	27.7	25.4	9.2	1.7	6.6	6.4	—	3.0	7.7	—	12.4
50～100万円	100.0	17.7	12.7	13.3	11.0	4.6	11.3	4.7	3.1	4.0	8.2	9.5
100～150万円	100.0	14.6	14.4	16.4	10.9	6.6	9.6	7.5	4.2	3.3	8.6	3.9
150～200万円	100.0	11.3	7.8	18.8	12.6	8.4	11.5	6.8	4.8	5.0	6.4	6.7
200～250万円	100.0	12.8	10.4	15.9	12.8	7.8	9.9	10.2	3.9	5.2	7.2	4.0
250～300万円	100.0	7.4	12.5	15.3	15.7	7.6	11.0	8.3	7.9	5.4	5.8	3.1
300～400万円	100.0	4.7	5.7	12.7	11.2	7.4	13.4	10.5	8.4	9.8	13.3	3.1
400～500万円	100.0	2.5	3.9	7.0	8.6	7.5	12.9	14.1	10.1	11.6	18.9	2.8
500万円以上	100.0	—	3.5	3.3	5.5	3.6	9.5	9.0	23.3	13.2	28.1	0.9
不明	100.0	16.8	9.7	11.6	9.1	6.9	3.7	3.7	1.3	4.0	1.4	31.9

1 1 夫婦の現役時代の経歴類型別にみた状況（夫婦世帯）

ともに65歳以上である夫婦の現役時代の経歴類型別に受給者の構成割合をみると、夫が「正社員中心」、妻が「収入を伴う仕事をしていない期間中心」の世帯が20.0%、夫が「正社員中心」、妻が「中間的な経歴」の世帯が15.7%、夫婦ともに「正社員中心」の世帯が16.0%となっている。また、夫婦ともに「自営業中心」の世帯が10.9%となっている。

表20 夫の現役時代の経歴類型別・妻の現役時代の経歴類型別 構成割合

（ともに65歳以上である夫婦世帯）

		妻の現役時代の経歴類型							
		合計	正社員中心	常勤パート中心	アルバイト中心	自営業中心	収入を伴う仕事をしていない期間中心	中間的な経歴	不明
夫の現役時代の経歴類型		%	%	%	%	%	%	%	%
	合計	100.0	18.6	5.9	3.2	14.9	23.0	18.3	16.1
	正社員中心	72.7	16.0	5.0	2.4	3.2	20.0	15.7	10.4
	常勤パート中心	0.5	0.3	0.1	0.1	—	0.1	0.0	0.1
	アルバイト中心	1.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2
	自営業中心	16.6	0.9	0.5	0.3	10.9	1.7	0.9	1.4
	収入を伴う仕事をしていない期間中心	0.1	0.0	—	—	—	0.1	—	0.0
	中間的な経歴	2.3	0.4	0.1	0.1	0.1	0.4	1.2	0.2
	不明	6.5	0.9	0.1	0.0	0.5	0.7	0.4	3.8

注）「正社員中心」とは20歳から60歳までの40年間のうち20年を超えて正社員等であったものとし（他も同様）、「中間的な経歴」とはいずれの職業も20年以下であるものとする。

ともに65歳以上である夫婦の現役時代の経歴類型別に世帯の公的年金の平均年金額をみると、夫が「正社員中心」、妻が「収入を伴う仕事をしていない期間中心」の世帯が318.9万円、夫が「正社員中心」、妻が「中間的な経歴」の世帯が328.2万円、夫婦ともに「正社員中心」の世帯が357.6万円となっている。また、夫婦ともに「自営業中心」の世帯が147.7万円となっている。

表2-1 夫の現役時代の経歴類型別・妻の現役時代の経歴類型別 世帯の公的年金の平均年金額
(ともに65歳以上である夫婦世帯)

		妻の現役時代の経歴類型							
		合計	正社員中心	常勤パート中心	アルバイト中心	自営業中心	収入を伴う仕事をしていない期間中心	中間的な経歴	不明
夫の現役時代の経歴類型	合計	万円 282.3	万円 340.5	万円 271.9	万円 278.6	万円 182.3	万円 298.8	万円 308.9	万円 257.2
	正社員中心	324.0	357.6	290.0	302.5	310.3	318.9	328.2	299.7
	常勤パート中心	214.2	250.5	(*) 220.5	(*) 134.0	-	(*) 125.7	(*) 115.0	(*) 296.7
	アルバイト中心	151.1	193.5	135.3	172.6	165.7	110.8	(*) 228.0	112.7
	自営業中心	156.1	258.2	155.4	179.9	147.7	152.6	168.4	150.3
	収入を伴う仕事をしていない期間中心	257.0	(*) 461.0	-	-	-	(*) 66.2	-	-
	中間的な経歴	207.9	245.8	(*) 304.1	(*) 225.0	(*) 326.3	161.0	218.3	73.3
	不明	172.8	179.8	152.5	(*) 240.0	120.5	158.6	122.7	190.1

注1) 「正社員中心」とは20歳から60歳までの40年間のうち20年を超えて正社員等であったものとし(他も同様)、「中間的な経歴」とはいずれの職業も20年以下であるものとする。

注2) 表中の(*)は、当該受給者数が3以下であることを表している。

ともに６５歳以上である夫婦の現役時代の経歴類型別に世帯の平均収入額をみると、夫が「正社員中心」、妻が「収入を伴う仕事をしていない期間中心」の世帯が３９６．５万円、夫が「正社員中心」、妻が「中間的な経歴」の世帯が３９９．３万円、夫婦ともに「正社員中心」の世帯が４６２．６万円となっている。また、夫婦ともに「自営業中心」の世帯が３５４．６万円となっている。

表２２ 夫の現役時代の経歴類型別・妻の現役時代の経歴類型別 世帯の平均収入額
(ともに６５歳以上である夫婦世帯)

		妻の現役時代の経歴類型							
		合計	正社員中心	常勤パート中心	アルバイト中心	自営業中心	収入を伴う仕事をしていない期間中心	中間的な経歴	不明
夫の現役時代の経歴類型	合計	万円 397.4	万円 442.6	万円 377.1	万円 354.0	万円 417.1	万円 373.9	万円 384.1	万円 391.5
	正社員中心	429.1	462.6	395.9	369.1	674.4	396.5	399.3	443.4
	常勤パート中心	303.2	315.7	(*) 390.4	(*) 134.0	－	(*) 395.6	(*) 115.0	(*) 358.9
	アルバイト中心	190.2	197.6	157.8	213.0	296.6	143.5	(*) 228.0	130.8
	自営業中心	337.7	353.7	298.6	383.2	354.6	214.3	320.0	355.3
	収入を伴う仕事をしていない期間中心	257.0	(*) 461.0	－	－	－	(*) 66.2	－	－
	中間的な経歴	288.2	366.1	(*) 309.9	(*) 225.0	(*) 468.1	167.2	305.6	220.9
	不明	245.2	260.0	193.9	(*) 240.0	201.7	219.0	163.1	266.8

注１）「正社員中心」とは２０歳から６０歳までの４０年間のうち２０年を超えて正社員等であったものとし（他も同様）、「中間的な経歴」とはいずれの職業も２０年以下であるものとする。

注２）表中の（＊）は、当該受給者数が３以下であることを表している。

ともに 65 歳以上である夫婦の現役時代の経歴類型別に世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均をみると、夫が「正社員中心」、妻が「収入を伴う仕事をしていない期間中心」の世帯が 88.2%、夫が「正社員中心」、妻が「中間的な経歴」の世帯が 88.9%、夫婦ともに「正社員中心」の世帯が 85.8%となっている。また、夫婦ともに「自営業中心」の世帯が 70.0%となっている。

表 2-3 夫の現役時代の経歴類型別・妻の現役時代の経歴類型別
世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均（ともに 65 歳以上である夫婦世帯）

		妻の現役時代の経歴類型							
		合計	正社員中心	常勤パート中心	アルバイト中心	自営業中心	収入を伴う仕事をしていない期間中心	中間的な経歴	不明
夫の現役時代の経歴類型	合計	% 83.8	% 85.3	% 85.3	% 84.9	% 71.3	% 87.4	% 88.1	% 83.0
	正社員中心	86.7	85.8	86.9	87.3	76.6	88.2	88.9	84.2
	常勤パート中心	81.9	86.4	(*) 70.5	(*) 100.0	－	(*) 51.4	(*) 100.0	(*) 78.6
	アルバイト中心	85.1	98.1	81.5	88.0	60.8	81.2	(*) 100.0	92.6
	自営業中心	72.3	80.6	71.9	56.9	70.0	82.0	75.5	75.5
	収入を伴う仕事をしていない期間中心	100.0	(*) 100.0	－	－	－	(*) 100.0	－	－
	中間的な経歴	85.9	76.2	(*) 96.7	(*) 100.0	(*) 75.8	94.5	88.8	63.2
	不明	80.3	81.2	77.3	(*) 100.0	70.6	72.7	80.2	83.2

注 1) 「正社員中心」とは 20 歳から 60 歳までの 40 年間のうち 20 年を超えて正社員等であったものとし（他も同様）、「中間的な経歴」とはいずれの職業も 20 年以下であるものとする。

注 2) 表中の（*）は、当該受給者数が 3 以下であることを表している。

(単身世帯に関する状況)

1 2 公的年金の受給状況 (単身世帯)

受給者全体の中で、受給者のみからなる世帯(単身世帯)に属する者は11.6%となっている。このうち男子は3.5%、女子は8.1%となっている(表3参照)。これを年齢階級別にみると、男子では「70～74歳」が25.1%、「65～69歳」が21.0%となっている。また、女子では「70～74歳」が19.9%、「80～84歳」が19.2%となっている。

単身世帯の女子では、4割以上が80歳以上の受給者となっており、受給者全体の年齢階級別の構成割合と比較すると、高齢者の割合が高くなっている。

表 2 4 性別・本人の年齢階級別 構成割合 (単身世帯)

	(参考) 全世帯	
	男子	女子
	%	%
合計	100.0	100.0
65歳以下	13.9	6.0
65～69歳	21.0	14.3
70～74歳	25.1	19.9
75～79歳	17.3	18.6
80～84歳	12.3	19.2
85～89歳	6.0	11.9
90歳以上	4.4	10.2

単身世帯の公的年金の年金額をみると、男子では「１５０～２００万円」が２０．４％、「５０～１００万円」が１９．５％となっている。また、女子では「５０～１００万円」が３２．９％、「５０万円未満」が２３．８％となっている。

平均年金額は、男子１５７．８万円、女子１１２．１万円となっている。

表２５ 性別・本人の年齢階級別・世帯の公的年金年金額階級別 構成割合（単身世帯）

性別：男子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～350万円	350万円以上	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	11.1	19.5	19.1	20.4	11.8	9.7	5.9	2.3	157.8
64歳以下	100.0	31.1	15.5	25.2	22.2	5.9	—	—	—	101.9
65～69歳	100.0	6.1	21.2	21.5	27.2	17.2	5.5	—	1.2	149.1
70～74歳	100.0	6.8	16.6	16.7	22.7	13.0	16.1	5.6	2.6	176.5
75～79歳	100.0	6.5	16.2	19.2	17.1	12.0	12.4	13.8	2.8	181.5
80～84歳	100.0	12.7	14.0	20.6	14.2	6.3	10.3	14.6	7.3	187.1
85～89歳	100.0	4.8	43.9	12.5	9.4	13.9	12.6	2.8	—	137.2
90歳以上	100.0	19.8	35.2	7.4	14.7	10.3	8.1	4.4	—	122.3

性別：女子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～350万円	350万円以上	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	23.8	32.9	15.9	12.6	8.8	3.7	1.4	0.9	112.1
64歳以下	100.0	41.2	30.4	17.1	3.8	7.6	—	—	—	77.0
65～69歳	100.0	5.5	36.8	28.4	13.5	8.7	4.9	2.1	—	127.3
70～74歳	100.0	12.6	38.0	16.2	13.0	12.1	4.4	2.1	1.5	126.8
75～79歳	100.0	14.6	34.8	16.7	15.0	9.8	5.9	2.3	0.9	128.0
80～84歳	100.0	25.6	30.9	13.7	14.3	9.4	3.6	0.7	1.7	115.5
85～89歳	100.0	38.2	28.3	8.4	14.4	6.7	3.0	0.5	0.5	95.1
90歳以上	100.0	57.6	24.1	8.7	6.1	2.5	—	1.0	—	66.8

1 3 収入の状況（単身世帯）

単身世帯の収入額をみると、男子では「150～200万円」が14.3%、「100～150万円」が13.9%となっている。また、女子では「50～100万円」が21.0%、「100～150万円」が13.5%となっている。

平均収入額は男子256.8万円、女子166.9万円となっている。

表26 性別・本人の年齢階級別・世帯の収入額階級別 構成割合（単身世帯）

性別：男子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	3.7	10.8	13.9	14.3	12.8	8.0	13.6	5.3	4.5	1.5	11.6	256.8
64歳以下	100.0	5.9	3.0	11.9	17.8	16.3	10.4	17.8	6.6	4.4	1.5	4.4	257.9
65～69歳	100.0	2.3	9.4	13.9	17.5	11.0	9.9	15.2	5.6	3.2	2.1	9.8	249.1
70～74歳	100.0	0.8	12.0	13.7	16.4	13.5	8.1	13.5	3.8	7.0	—	11.2	239.9
75～79歳	100.0	4.3	6.3	15.1	9.3	15.3	2.8	12.7	6.9	6.4	—	21.0	243.0
80～84歳	100.0	2.7	11.1	19.4	12.5	6.3	7.9	17.5	7.1	1.6	5.7	8.3	374.7
85～89歳	100.0	4.8	32.9	12.5	6.6	10.2	12.6	2.8	3.7	—	2.8	11.0	214.6
90歳以上	100.0	19.8	22.0	3.7	10.3	18.3	4.4	—	—	3.7	—	17.7	145.1

性別：女子

	合計	50万円未満	50～100万円	100～150万円	150～200万円	200～250万円	250～300万円	300～400万円	400～500万円	500～800万円	800万円以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	13.0	21.0	13.5	12.2	9.6	5.6	5.0	2.1	0.8	1.0	16.1	166.9
64歳以下	100.0	11.0	13.3	20.8	11.3	13.3	9.5	15.1	5.7	—	—	—	193.2
65～69歳	100.0	3.0	20.4	18.9	15.9	11.2	7.6	6.3	4.8	2.4	1.1	8.4	198.2
70～74歳	100.0	8.7	24.7	14.5	11.0	13.7	4.9	5.3	2.6	1.0	1.1	12.3	170.3
75～79歳	100.0	5.7	23.0	13.3	16.2	7.3	7.4	5.1	1.8	0.8	0.9	18.6	174.0
80～84歳	100.0	14.1	18.7	10.3	11.3	9.3	5.9	2.4	0.9	0.6	2.4	24.3	190.8
85～89歳	100.0	22.0	24.0	11.4	12.1	7.2	4.1	4.4	—	—	—	14.9	120.5
90歳以上	100.0	37.7	16.5	8.1	4.5	4.6	—	2.6	0.5	—	—	25.5	85.9

単身世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均をみると、男子では80.1%、女子では87.2%となっている。これを年齢階級別にみると、年齢が高いほど公的年金収入の占める割合が高くなる傾向がみられる。

表27 性別・本人の年齢階級別 世帯の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均（単身世帯）

	男子	女子
	%	%
合計	80.1	87.2
64歳以下	52.1	52.0
65～69歳	76.2	80.1
70～74歳	86.2	88.9
75～79歳	89.8	90.0
80～84歳	81.0	92.1
85～89歳	95.2	91.2
90歳以上	91.1	95.4

1.4 支出の状況（単身世帯）

単身世帯の支出額（月額）をみると、男子では「10～15万円」が17.8%、「15～20万円」が16.0%となっている。また、女子では「10～15万円」が19.4%、「15～20万円」が19.0%となっている。

平均支出額（月額）は男子では22.2万円、女子では17.1万円となっている。

表2.8 性別・本人の年齢階級別・世帯の支出額階級（月額）別 構成割合（単身世帯）

性別：男子

	合計	5万円未満	5～10万円	10～15万円	15～20万円	20～25万円	25～30万円	30～35万円	35～40万円	40～50万円	50万円以上	不明	平均額（月額）
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	3.3	8.0	17.8	16.0	15.5	9.4	7.4	2.2	4.9	4.9	10.6	22.2
64歳以下	100.0	1.5	5.9	20.8	16.3	19.3	10.4	7.4	3.6	8.9	4.4	1.5	23.0
65～69歳	100.0	3.6	4.5	26.6	14.1	18.3	7.1	9.5	2.2	5.3	2.3	6.5	20.7
70～74歳	100.0	2.4	7.7	18.7	15.9	11.5	15.2	7.3	1.8	6.4	3.5	9.7	22.3
75～79歳	100.0	1.3	7.8	16.5	20.5	15.8	8.7	4.2	—	2.4	6.7	15.9	21.5
80～84歳	100.0	2.9	10.1	12.2	12.3	20.0	9.1	9.6	4.5	1.6	6.1	11.6	26.0
85～89歳	100.0	10.8	14.6	2.3	18.4	12.6	—	6.6	3.7	2.8	9.3	18.9	20.2
90歳以上	100.0	11.8	17.6	3.7	14.0	3.7	—	5.1	—	3.7	10.3	30.1	19.9

性別：女子

	合計	5万円未満	5～10万円	10～15万円	15～20万円	20～25万円	25～30万円	30～35万円	35～40万円	40～50万円	50万円以上	不明	平均額（月額）
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	5.6	17.5	19.4	19.0	9.3	4.9	3.4	3.0	2.3	2.7	12.9	17.1
64歳以下	100.0	1.9	5.3	24.5	20.9	15.1	7.7	7.6	7.6	1.9	3.9	3.8	21.1
65～69歳	100.0	4.9	6.0	21.9	24.5	10.0	8.8	7.5	4.2	3.4	1.6	7.0	19.8
70～74歳	100.0	4.1	22.4	14.6	21.0	9.9	5.3	2.2	5.0	4.1	2.7	8.7	17.7
75～79歳	100.0	6.9	16.3	20.8	23.0	9.3	4.2	1.3	1.9	3.3	3.1	10.0	16.6
80～84歳	100.0	6.7	19.4	18.1	15.8	8.6	4.2	2.9	2.0	0.6	2.9	18.8	16.0
85～89歳	100.0	5.6	18.6	21.5	15.1	11.3	1.3	3.4	1.9	1.1	4.4	15.9	16.9
90歳以上	100.0	6.7	28.7	20.1	9.3	2.4	4.2	2.6	—	0.5	0.5	25.1	12.1

1 5 貯蓄の状況（単身世帯）

6 5 歳以上単身世帯の貯蓄額をみると、「貯蓄なし」が男子 2 6 . 5 %、女子 1 9 . 5 %となっている。また、男女とも 5 0 0 万円未満に半数以上の受給者が分布しているが、高額 of 階級にも幅広く分布している。

表 2 9 性別・世帯の公的年金年金額階級別・世帯の貯蓄額階級別 構成割合（6 5 歳以上単身世帯）

性別：男子

	合計	貯蓄なし	100万円未満	100～300万円	300～500万円	500～700万円	700～1,000万円	1,000～1,500万円	1,500～2,000万円	2,000～3,000万円	3,000万円以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	26.5	12.4	12.2	7.1	3.6	5.1	6.4	3.6	6.4	5.5	11.1
50万円未満	100.0	46.9	19.9	9.6	—	—	—	8.1	—	—	—	15.4
50～100万円	100.0	24.7	13.7	12.5	5.2	4.1	1.4	3.8	—	11.1	5.9	17.5
100～150万円	100.0	38.6	12.3	14.1	8.8	4.2	8.1	4.1	2.9	—	1.1	5.8
150～200万円	100.0	31.7	11.7	9.0	4.0	7.5	5.2	7.4	5.0	4.2	2.5	11.8
200～250万円	100.0	18.7	14.3	12.4	18.3	1.8	6.3	6.4	4.1	6.0	4.2	7.6
250～300万円	100.0	8.9	8.1	11.7	6.8	2.4	9.5	13.1	6.1	7.0	11.1	15.2
300～350万円	100.0	7.6	10.5	17.6	7.5	—	6.4	4.0	8.6	15.1	22.9	—
350万円以上	100.0	19.6	—	14.6	—	—	—	8.3	11.2	27.0	9.9	9.6

性別：女子

	合計	貯蓄なし	100万円未満	100～300万円	300～500万円	500～700万円	700～1,000万円	1,000～1,500万円	1,500～2,000万円	2,000～3,000万円	3,000万円以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	19.5	14.9	12.4	8.7	4.6	6.8	4.7	4.3	2.7	5.0	16.5
50万円未満	100.0	30.3	12.7	16.6	5.1	1.7	1.3	2.7	1.7	—	1.1	26.9
50～100万円	100.0	21.7	16.6	10.9	9.7	3.1	5.7	4.4	4.7	1.8	3.7	17.8
100～150万円	100.0	19.6	20.1	11.0	4.7	8.0	8.5	4.6	3.6	3.2	2.5	14.2
150～200万円	100.0	10.9	19.2	11.4	16.4	6.3	8.4	6.0	2.3	1.3	7.6	10.2
200～250万円	100.0	7.9	7.1	16.4	10.5	4.2	9.4	9.4	5.0	9.1	12.7	8.3
250～300万円	100.0	1.5	5.0	2.1	5.1	16.7	21.5	5.6	12.7	6.2	18.9	4.7
300～350万円	100.0	6.6	3.5	14.2	8.6	—	19.2	—	19.7	5.7	18.5	4.0
350万円以上	100.0	5.2	—	—	20.3	—	18.0	7.0	24.2	25.4	—	—

(受給者の意識に関する状況)

1 6 年金に対する意識の状況

年金に対する意識をみると、「公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにすべき」が 58.7%、「公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき」が 22.5% となっており、これらが全体の 8 割以上を占めている。これを本人及び配偶者の公的年金年金額階級別にみると、公的年金年金額が高いほど「公的年金ではなく、家族内の経済的な助け合いを中心とするべき」の割合が低くなっており、「公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき」の割合が高くなる傾向がみられる。

表 3 0 本人及び配偶者の公的年金年金額階級別・年金に対する意識別 構成割合

	合計	50万円 未満	50～100 万円	100～150 万円	150～200 万円	200～250 万円	250～300 万円	300～400 万円	400～500 万円	500万円 以上	不明	平均額
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	万円
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	205.5
公的年金だけで ゆとりある老後の生活が 送れるようにすべき	58.7	57.8	57.9	58.3	60.7	60.1	62.5	58.2	59.1	52.9	50.1	205.9
公的年金を中心として、これに、 企業年金や個人貯蓄等を 組み合わせるべき	22.5	11.6	16.2	21.4	23.6	23.9	27.2	30.7	29.3	37.0	9.3	238.3
後世代の負担により成り立つ 公的年金は最小限とし、企業年金 や個人貯蓄等を中心とするべき	4.0	5.0	4.5	4.0	4.0	4.2	2.4	4.2	4.0	5.9	2.7	199.3
公的年金ではなく、 家族内の経済的な助け合いを 中心とするべき	2.3	3.7	3.6	3.2	2.2	1.6	1.2	0.8	0.6	0.6	4.8	144.6
その他	1.5	2.2	2.7	1.6	1.1	1.5	0.4	1.1	0.7	0.7	1.7	154.8
不明	11.0	19.6	15.0	11.4	8.4	8.8	6.3	5.0	6.3	2.9	31.4	150.8

本人及び配偶者の貯蓄額階級別に年金に対する意識をみると、「貯蓄なし」では「公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにするべき」が68.6%、「公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき」が6.5%となっており、「3,000万円以上」では「公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにするべき」が32.3%、「公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき」が51.1%となっている。貯蓄額が高いほど「公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにするべき」の割合が低くなっており、「公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき」の割合が高くなる傾向がみられる。

表3-1 本人及び配偶者の貯蓄額階級別・年金に対する意識別 構成割合

	合計	貯蓄なし	100万円未満	100～300万円	300～500万円	500～700万円	700～1,000万円	1,000～1,500万円	1,500～2,000万円	2,000～3,000万円	3,000万円以上	不明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
公的年金だけでゆとりある老後の生活が送れるようにするべき	58.7	68.6	71.6	69.8	64.4	61.7	57.5	50.1	51.3	41.2	32.3	44.4
公的年金を中心として、これに、企業年金や個人貯蓄等を組み合わせるべき	22.5	6.5	11.3	15.5	22.3	24.3	30.5	35.7	37.4	44.1	51.1	6.9
後世代の負担により成り立つ公的年金は最小限とし、企業年金や個人貯蓄等を中心とするべき	4.0	1.1	2.5	2.6	3.6	4.8	5.0	5.5	5.4	6.5	10.5	2.5
公的年金ではなく、家族内の経済的な助け合いを中心とするべき	2.3	3.5	2.3	3.4	1.9	2.4	1.3	1.4	1.5	1.9	1.4	2.3
その他	1.5	3.6	1.9	1.2	1.3	0.6	0.7	1.5	0.4	0.9	0.6	1.5
不明	11.0	16.8	10.5	7.4	6.5	6.1	5.0	5.7	4.0	5.4	4.2	42.5